

I 理科「モンシロチョウを育てよう」

モンシロチョウを卵から育ててみよう（1組）

1 学習の概要

3年生の子どもたちは、ますます活発になり、明るく伸び伸びと生活しています。また、3年生になって、社会、理科、総合的な学習の時間が始まり、期待に胸を膨らませ、試行錯誤を繰り返しながら様々な学習に取り組んでいます。

5月からの理科の単元「モンシロチョウを育てよう」の学習では、理科を総合的な学習の時間と合科的に扱い、飼育活動、調べ学習、青虫の新聞を作ってまとめるという学習の流れで取り組む計画を立てました。

生き物を育てることは、程度の差はあるものの、どの子も多少の経験をしてきています。しかし、虫が苦手な児童がいたり、また、今までは、飼育することが目的となっていたりしたため、細かい変化を観察することは十分では、ありませんでした。この学習を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、昆虫の成長のきまりについての理科的な見方や考え方を養いたいと考え、本学習に取り組みました。

2 ねらい

- モンシロチョウの卵を探したり、青虫を育てたりする中で、生き物に親しみをもつ。
- 飼育活動を通して、わからないことを調べたり、新聞にまとめたりすることで、チョウの成長のきまりについて知る。

3 取り組み

- (1) 花に集まるモンシロチョウとキャベツ畑に集まるモンシロチョウの写真を見て話し合う

①花に集まるモンシロチョウについて話し合う

写真を見て、子ども達にチョウは何をしているかを尋ねると、
「チョウは花の蜜を吸うんだ。」

という意見が出され、誰もがチョウが花の蜜を吸うことは、知っていました。

ところで、チョウはどの部分を使って蜜を吸っているのかを尋ねると、
「人間と同じように口があるんだよ。」

「チョウの口は蜜を吸いやすいようにストローのようになっているよ。」

という意見が出されました。

②キャベツ畑に集まるモンシロチョウについて話し合う

次にキャベツ畑の写真を見て、チョウは何をしているか尋ねると、

「モンシロチョウがキャベツの葉っぱを食べるんだよ。」

「チョウのストローでは、キャベツの葉っぱを食べられないよ。でも、葉っぱは、穴だらけだよ。」



〔卵のついている葉を切り取る〕

「モンシロチョウの幼虫の青虫が食べているんだよ。」

「青虫は、どこから来たのかな。小さい青虫はいるけど、卵なんて見たことないよ。」

「卵が小さすぎて見えないのかも。」

という、意見が出されました。そこで、畑に行ってみることにしました。

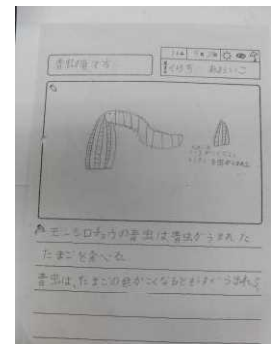
③ 虫めがねを使って、キャベツの葉の様子を観察する

キャベツの葉の上にいる青虫は、すぐに見つけられましたが、葉の裏の卵は肉眼ではなかなか見つけられませんでした。小さな小さな黄色い粒を葉っぱごと取り、虫めがねで見て確認しました。それが本当に卵なのか、自分の用意したケースの中で観察していくことにしました。

(2) 卵からモンシロチョウに育てる

① モンシロチョウの育て方を図書館で調べる

卵からモンシロチョウを育てるために、本や図鑑を使って、モンシロチョウの育て方を調べてみました。本で調べ物をする経験は少なく、苦労していましたが、国語の学習で学んだ国語辞典の使い方を思い出し、索引を使って調べ始める子もいました。調べたことは、観察カードに記録していきました。



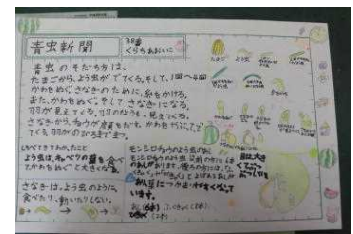
〔本や図鑑で調べ、観察記録にまとめる〕

② 飼育活動をする

飼育が始まると、キャベツの葉が穴だらけになり、ケースの中がふんだらけになってしまいました。このことから、葉っぱを替えたり、水を含ませた脱脂綿を入れたりすることなどがだんだんわかってきました。青虫が大きくなっていくことから、本で調べたように、青虫が脱皮することもわかってきました。やがて、さなぎになり、朝、登校したときにチョウになっていて、うれしい歓声が上がっていました。

③ 観察記録を集めて、青虫新聞を作る

今まで記録してきたもの、調べたものを基に青虫新聞を一人ずつ作り、学習のまとめとしました。3年生の新聞作りは、いちご新聞に続いて2回目となり、感想なども入れて上手にまとめることができました。



〔青虫新聞〕

4 まとめ

この学習を通して、子ども達は、生き物を育てるために必要なことや、育ちの順番がわかりました。また、生き物への愛情ももてるようになりました。この経験を今後の学習に生かして行ってほしいと願っています。

コップをつかって

何杯かを量る間接比

較

